

第36回 源氏物語アカデミー プログラム

開催日	時間	内 容	会 場
10/17 金	18:00 18:15	開 講 式	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	18:20 19:20	講 義「史実と虚構～道長と紫式部～」 同志社女子大学名誉教授 おぼる や ひさし 龍 谷 壽 氏	
	19:30 21:00	講 演「上代文学における夢」 東京大学名誉教授 てつ の まさ ひろ 鉄 野 昌 弘 氏	
10/18 土	8:30 12:00	現地研修 「紙祖神 岡太神社・大瀧神社と和紙の里」	岡太神社・大瀧神社 和紙の里
	13:00 14:30	かな書体験「筆ペンで源氏物語の和歌を書く」 書 家 さい どう び えん 斉 藤 美 苑 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	15:00 16:00	公開講座「べらぼう」の世の絵草紙 ～越前と紫式部～ 福井大学名誉教授 み よ し しゅういちろう 三 好 修 一 郎 氏	
	16:15 17:45	特別講演「古典文学に見る夢」 東京大学大学院教授 た か ん ぎ か す こ 高 木 和 子 氏	
	18:15 20:00	宴 席「紫きぶ御膳」	料 亭 鎌 仁 別 荘
10/19 日	9:00 10:30	講 義「平安朝の夢解き～立身出世の夢～」 東京大学大学院准教授 くり ち と か よ こ 栗 本 賀 世 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	10:45 12:15	原文講読 源氏物語の夢 「若菜上」の明石入道の夢、「朝顔」の光源氏の夢 京都先端科学大学国際学術研究院教授 や ま も と じゅん こ 山 本 淳 子 氏	
	12:30 12:50	閉講式・講評 監 修 者 おぼる や ひさし 龍 谷 壽 氏	

※ プログラムの内容は変わることがあります。

- 参加会費
- 受講料 / 4,000円 (各講義/原文講読)

●講義テキスト / 2,000円

●18日 公開講座・特別講演 / 一般公開
- 現 地 研 修 / 5,000円 (バス・入館料・弁当)

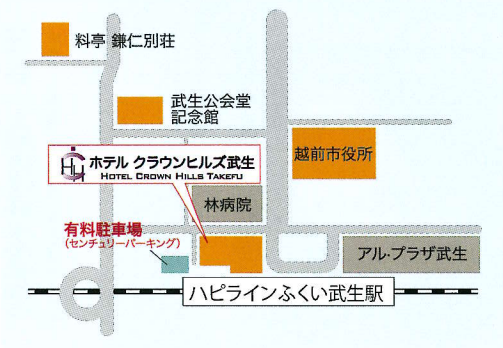
●かな書体験 / 2,000円

●紫きぶ御膳 / 8,000円

■申込期限 9月30日(火) 期限厳守をお願いします。

[お申込み・お問合せ]
源氏物語アカデミー委員会

〒915-0832
福井県越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内
TEL 0778-23-5057 FAX 0778-21-1975
Email: info@genji-ac.jp



■会場までのアクセス
(ホテルクラウンヒルズ武生)
ハビラインふくい武生駅から
徒歩1分
JR北陸新幹線越前
たけふ駅からタクシー
で約15分

越前市市制施行二十周年記念事業

第36回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と夢

監修 同志社女子大学名誉教授 龍谷 壽



渡辺玉花 源氏物語五十四帖「朝顔」

会 期：令和7年 10月17日金～19日回
会 場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか

主 催：源氏物語アカデミー委員会
共 催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団
後 援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会 武生商工会議所
(一社)越前市観光協会 福井新聞社 古典の日推進委員会
助 成：令和7年度アートプロジェクト支援事業助成金



第36回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と夢

源氏物語アカデミーへの誘い

紫式部が生涯にただ一度、都を離れて父(藤原為時)と暮らした越前国府。その福井県越前市に、『源氏物語』を読み継ぐ全国の皆さんが集い、今年も第三十六回「源氏物語アカデミー」が開催されます。令和七年のアカデミーのテーマは「源氏物語と夢」。講師の先生方には、紫式部・古典文学・平安朝・源氏物語などをキーワードにあらゆる側面から『夢』について解き明かしていただきます。また、現地研修は越前和紙の里を歩きます。それでは、越前の地で『源氏物語』を追究する濃厚な三日間をどうぞお楽しみください。

講義 「史実と虚構～道長と紫式部～」

10/17(金) 18:20～19:20



臈谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 日本古代史、平安時代の政治・文化
同志社大学文学部文化史学科卒
主な著書に『源頼光』(吉川弘文館)『王朝と貴族』(集英社)『藤原氏千年』(講談社現代新書)『源氏物語の風景』『平安貴族と邸第』(吉川弘文館)『藤原道長』『藤原彰子』(ミネルヴァ書房)『平安王朝の葬送』(思文閣出版)『平安京の四〇〇年～王朝社会の光と陰』(ミネルヴァ書房)紫式部顕彰会理事(京都)。公益財団法人古代学協会理事長。古典の日推進委員会アドバイザー。第5回から源氏物語アカデミー監修者に就任。平成16年度京都府文化功労賞受賞。令和3年度京都市芸術振興賞受賞。

講演 「上代文学における夢」

10/17(金) 19:30～21:00



鉄野 昌弘氏

東京大学名誉教授
1959年東京生まれ 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。帝塚山学院大学助教授、東京女子大学教授などを経て、東京大学教授。2025年3月退職。専門は日本上代文学・和歌文学。主著『大伴家持「歌日誌」論考』(塙書房)・『人物叢書 大伴旅人』(吉川弘文館)。共編著に『人生をひもとく 日本の古典』(全6冊、岩波書店)・『万葉集の基礎知識』(角川書店)・『播磨国風土記 全訳注』(講談社)など。またNHKラジオ古典講読(2022年度)「歌と歴史でたどる『万葉集』」講師を務めた。

公開講座 「べらぼう」の世の絵草紙 ～越前と紫式部～

10/18(土) 15:00～16:00



三好 修一郎氏

福井大学名誉教授
東京学芸大学大学院教育学研究科修了。仁愛女子短期大学助教授、福井大学教授を歴任し、現在、福井大学名誉教授。越前市史編さん委員。主著に『文学教材を深く読むための国語授業デザイン』(明治図書)、『雑書留一旗本金森左家 江戸留守居役の雑記帳』(越前市史 別冊)、『一初期草双紙集成～江戸の絵本』全4巻(国書刊行会 共著)、『草双紙事典』(東京堂出版 共著)。

特別講演 「古典文学に見る夢」

10/18(土) 16:15～17:45



高木 和子氏

東京大学大学院人文社会系研究科教授 国文学、平安朝文学
東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学)。
『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や和歌を研究。
主な著書に、『源氏物語の思考』(風間書房、第五回紫式部学術賞)、
『男読み 源氏物語』(朝日新書)、『女から詠む歌 源氏物語の贈答歌』(青簡舎)、『コレクション日本歌人選 和泉式部』(笠間書院)、
『平安文学でわかる恋の法則』(ちくまプリマー新書)、
『源氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』(岩波書店)、
『源氏物語を読む』(岩波新書)、
『源氏物語入門』(岩波ジュニア新書)、
『源氏物語の作者を知っていますか』(だいわ文庫)。

講義 「平安朝の夢解き～立身出世の夢～」

10/19(日) 9:00～10:30



栗本 賀世子氏

東京大学大学院人文社会系研究科准教授
東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学)。
『源氏物語』・『うつほ物語』を中心とした平安朝物語文学を研究。
単著に『平安朝物語の後宮空間』(武蔵野書院、第十六回紫式部学術賞受賞)、
『源氏物語の舞台装置』(吉川弘文館)、共著に『はじめて読む源氏物語』(花鳥社)、
その他主要論文に「入内拒否をめぐる天皇・東宮側の反応～竹取・うつほから源氏物語へ」
('古典文学研究の対象と方法」、花鳥社)、「光源氏青年期の桐壺住み～皇位継承の代償としての内裏居住～」('源氏物語 フィクションと歴史 文学の営みを通して」、青簡舎)などがある。

原文講読 源氏物語の夢 「若菜上」の明石入道の夢、「朝顔」の光源氏の夢 10/19(日) 10:45～12:15



山本 淳子氏

京都先端科学大学 国際学術研究院教授。平安文学研究者。
『源氏物語』作者・紫式部の人生と作品、またその時代背景となった一条天皇の時代を、主な研究対象としている。
京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。
2007年、『源氏物語の時代 一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞出版)でサントリー学芸賞受賞。2015年、『平安人(へいあんびと)の心で「源氏物語」を読む』(朝日新聞出版)で古代歴史文化賞優秀作品賞受賞。著書は受賞作のほか、『紫式部日記 現代語訳つき』(角川ソフィア文庫2010年)『枕草子のたくらみ～「春はあけぼの」に秘められた思い』(朝日新聞出版、2017年)『紫式部ひとり語り』(角川ソフィア文庫、2020年)『道長ものがたり』(朝日新聞出版、2023年)など多数。

現地研修 紙祖神 岡太神社・大瀧神社と和紙の里

10/18(土) 8:30～12:00

現在越前市では、「越前鳥の子紙」の世界無形文化遺産「和紙・日本の手漉き和紙技術」への追加登録、そして「創造都市ネットワーク」の中のクラフト&フォークアート分野での認定という二つのユネスコ登録・認定を目指しています。



岡太神社・大瀧神社

その越前和紙の中心地において紙の神様を祀る「大瀧神社」、越前和紙の資料を展示する「紙の文化博物館」、越前和紙にゆかりのある作家たちの作品を展示する「和紙の里美術館」、紙漉きの工程を見学できる「卯立の工芸館」を専門家の解説を聴きながらめぐります。

かな書体験 筆ペンで源氏物語の和歌を書く ～平安のかな文化を少し体験してみよう～

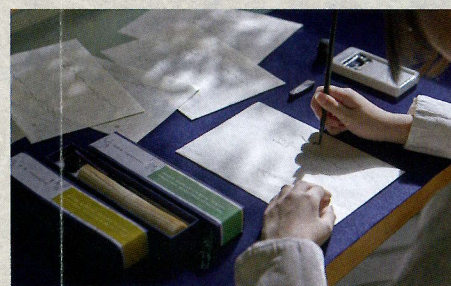
10/18(土) 13:00～14:30



斉藤 美苑氏

プロフィール

幼少の頃から書道に親しむ。2012年より書での活動開始。現在都内4ヶ所で書道教室主宰。企業への題字提供や筆耕、本出版やコラムの執筆、TV出演など。また、書くことに親しむワークショップを多数開催。「字を書くこと」の楽しさや大切さが伝わることを軸に活動している。

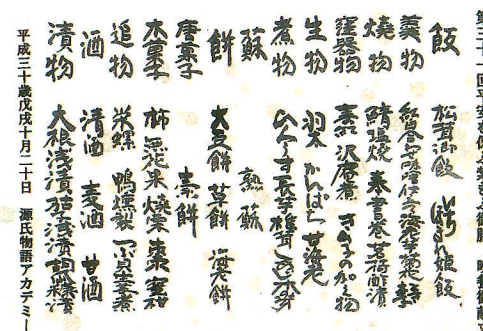


越前和紙に印刷された『源氏物語』の和歌を筆ペンでなぞっていきます。 ※写真はイメージです。

宴席 紫きぶ御膳

料亭 録仁別荘

10/18(土) 18:15～20:00



※内容は変わります。